



今回は、「分かり合えない・理解できない人と、何とか仲良くやっていくためにはどうすればいいのか？」の続きです。前号では「まずは、話してみることに」や、「相手への話し方」「話すときの心構え」が大事なのではないか、という意見を紹介しました。さて、他にはどんな意見があったのでしょうか。

① この人は嫌だなーと思うと相手の短所ばかり見るようになって、負のループが続いてしまうので、相手の長所を見てあげると、どんどん良く思えてくる。



② (分かり合えない)人を見ると、どうしてもいやな行動、いやなところばかり見てしまい、さらに苦手意識が強くなってしまうので、良いところを見つけて「こんな人なんだこういう行動もしてたんだ」と気づくことで少しずつ苦手意識がなくなっていくと思います。

「相手の良いところ(長所)を見つける」…。この意見も多かったですね。分かり合えない人は、どうしても好きになれない。そんな気持ちを変化させてくれる一つの方法です。先生も、これで見方を変化させることができた人がいるのでよくわかります。

さて、次は、今の意見を、もう一歩深めた意見です。



③ 立場があるからこそ、人への理解の壁があるわけで、お互いの立場を差し引いて、理解をするための行動をすれば、人と近づくための第一歩になっていくと思う。

④ どんなに自分と合わない人や、性格が悪いと思える人でも、何かしらの悲しい経験があるかもしれないから、それを共有し合うようにする。

⑤ …自分はその人ではないからすべては分からないけど、理解しようと努力してみること、その人から見た景色をイメージすることで少しは分かることがあると思う。

分かり合えなくても、こういう人もいるんだ、自分の知っていることが全てではないということを常に心において接することも大事だと思う。



⑥ 本当にその人の全てが理解できないのか、自分が勝手に証拠もなしに「その人がこういう人だから理解できない」と決めつけていないかを一度考え直してみて、…そうでないのなら、また一から相手の悪いところだけでなく、よいところを見れるよう努力してみる。

⑦ その人がどのような立場にいて、どんな気持ちになっているのかを考えてみる。



簡単にいうと「相手の立場になって考えてみる」ということでしょいか。自分では理解できない考え方を持つ人に接すると、「あんな考え方、信じられん！」などと、どうしてもその人を非難しがちになります。特にその考え方が、少数派だった場合は、その雰囲気は強まってしまいます。

そんなとき、なぜ、そんな考え方をするのか？その理由まで考えを巡らせてみる…。もし、それができたら、相手を一方向的に非難するだけではなくなるでしょうね。逆に、「なぜそんな考え方をするのか」「自分の考え方は本当に正しいのか」と、新たな視点で相手や自分自身を見つめるきっかけを得ることができるかもしれません。実は、この視点は、様々な問題解決に通じる重要なポイントだと先生は考えています。

さて、今回はこのテーマの最終回にしたいと思います。